

会はこれを推奨していたという経緯がございます。

では、プロバスクラブというのは何なのかということですが、PROFESSIONAL(専門職業人)のPROとBUSINESS PERSON(実業人)のBUSを組み合わせた合成語です。ラテン語にプロバスという言葉がありますが、それは忠誠とか誠実という意味だそうです。リタイアあるいはセミリタイアした専門職の人、実業人、行政その他で活躍した方々が入会可能です。リタイア後の親睦を中心とした仲間づくりとキャリアを活かして社会貢献ができるような組織になることが理想です。

歴史的にみますと、1920年代にカナダやアメリカで原型的な組織があったそうです。ロータリーとの絡みでは1965年イギリスでウェルウィンガーデンRCというクラブが退任した専門職業家、実業家によるクラブを組織したようです。これはキャンパスクラブという名称で、これがプロバスクラブの第1号といわれています。その後、1970年代イギリスから、さらにオーストラリア、ニュージーランド、カナダへと広がっていき、去年の時点では世界で約4,000クラブ、30万人以上の会員がいます。日本では1988年に2680地区(兵庫県)上郡RCが上郡プロバスクラブ「清流会」を作ったのが最初です。2680地区では熱心に地区にもプロバス委員会が設けられていて、ロータリーとの連携、支援を密接に行っていると聞いています。その他2730地区(宮崎・鹿児島)なども多いようで、どちらかというと西日本の方が盛んなようです。プロバスには国際ロータリーのような全クラブを連絡調整する機関はありませんが、「全日本プロバス協議会」というものができています。これは全クラブが加入しているわけではありませんが、去年の時点で19都道府県88クラブが登録していて、会員は2,167名(内、女性366名)です。

例会は月1回というクラブがほとんどで、会員数は多いクラブは70名位で、最小クラブは6名とのことです。第2590地区では横浜山手RCと川崎西RCの2クラブがプロバスクラブを立ち上げております。

プロバスクラブとは

① ロータリークラブの提唱で設立するものである。

② クラブの設立後はロータリーから独立した自主自立の組織運営をしていく。

③ 会員は60歳を一つの目安として60歳以上で社会のいろいろな面で活躍された方で、リタイアまたはセミリタイアして、まだ活動する能力のある方で構成される。ロータリアンがメンバーの場合もあります。会員はプロバスクラブ以外の組織に所属していてもかまいません。

④ 毎月定例的に会合を開きますが、出席や奉仕の義務が特にございませぬ。

⑤ 会費は通常、月1,000円～3,000円位です。

⑥ 会合の時間は1～2時間程度でお茶(食事ではなく)を飲みながら行うというスタイルが多いようです。会合は月1回程度の定例会を設ける。

⑦ 活動は親睦が中心ですが、親睦と趣味の交流だけだと行き詰ってしまうようなので、各自の経験を活かした講座的なものや、何かイベント等を行い、地域社会のために積極的に奉仕活動をするにより、まとまっていくようです。単なる仲良しクラブにならないこと。従って、政治活動・宗教活動および営利活動を原則として行わない団体であり、最小限の費用で運営されることが原則である。

⑧ プロバスクラブの立ち上げにあたっての費用としては60万～70万程度が必要と思われます。

—支出—

備品類(プロバス旗・バッチ・書庫・消耗品等)

.....40万円程度

創立総会費.....20万円程度

—収入—

入会費1万円×人数

